

豊島区犯罪被害者月間イベント

～知ることから始める「犯罪予防」～

令和8年10月25日(日)

午後1時から4時まで
としまセンタースクエア
(区役所本庁舎1階)

予約不要 当日会場へお越しください。



今年は「犯罪予防」をテーマに、
2つの講演会と5つのブースを
まわりながら、犯罪被害者も加
害者も生まないまちづくりを考え
ます。

<スケジュール>

1時～開会

各ブースをご自由に見学ください。

1時30分～講演会1

「犯罪予防 特殊詐欺及び日常生活で気を付けてほしいこと」

豊島区治安対策担当課長

2時30分～講演会2

「罪に問われた人の『その後』を支える

ーソーシャルワークの立場から考える犯罪予防」

立教大学コミュニティ福祉学部准教授 掛川 直之 氏

4時 閉会

講演会は手話通訳あり
(予約不要)

スタンプラリーを開催し
ます。先着で刑務所で作
成された作品などの参
加賞をご用意しています。

<ブースご紹介> (レイアウトは変更する場合があります)

講演会会場へ

被害者・遺族パネル展示

NPO法人Coffee aid
2021

コーヒーとともに犯罪被害者支援
と更生保護について考える場
コーヒーをお楽しみください。
(無料提供)



警察署

犯罪被害者支援と
犯罪予防の取組みに
ついての展示

受付

入口

男女平等
推進センター
DV防止の取組に
ついて

豊島区
保護司会
犯罪被害者支援
と犯罪予防啓発
について

立教大学
掛川准教授
ゼミ学生
フィールドワーク
等の活動展示

<講演会登壇者・ブース参加団体のご紹介>



立教大学准教授 掛川 直之氏およびゼミ学生

立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科准教授。司法福祉学・刑事司法ソーシャルワーク論を専門とし、犯罪からの離脱を支える支援のあり方について研究している。ゼミでは、刑事裁判の傍聴や矯正施設等へのフィールドワークなどを通じて、司法と福祉の接点について実践的に学んでいる。

NPO法人 Coffee aid 2021(理事長 深迫 祥子氏)

2019年7月、バリスタとして働いていた長男(当時29歳)が、コーヒーの搬入に訪れたトラックのドライバーによるアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故で亡くなる。その息子の遺志を継ぎ、熊本市内の自宅敷地にコーヒー店「Calmet Coffee Shop」をオープン。

その後、2022年12月にNPO法人Coffee aid 2021を設立。

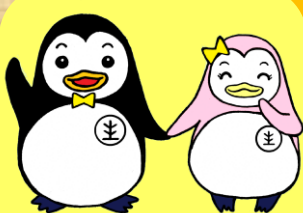
「コーヒー」をきっかけに、犯罪被害にあわれた方やそのご家族、地域の方々、学生、警察、刑務所・更生保護関係者など、さまざまな立場の人が対話できる場づくりに取り組み、犯罪被害者への寄り添い、刑務所・更生に関する活動、学生ボランティア育成などを行っている。

コーヒーの収益は犯罪被害者支援や社会貢献活動に充てている。



豊島区保護司会

犯罪や非行をした人の社会復帰(更生保護)をボランティアとして支え、地域の犯罪予防活動を行うとともに、犯罪被害者支援に対する理解を深める取り組みも行っている。主な活動内容としては、①保護観察対象者(少年院や刑務所を仮退院・仮出所した人など)の相談に乗り、社会生活への適応を支援すること、②更生保護サポートセンター「青少年相談室」において、非行防止や健全育成に関する地域の相談を受けること、③犯罪や非行のない地域社会を作るため、関係機関や団体(民生委員・児童委員、BBS会など)と連携したイベントや研修会などを行っている。



更生保護マスコットキャラクター
ホゴちゃん・サラちゃん

<豊島区の犯罪被害者等支援についての取組み>

令和7年 4月 豊島区犯罪被害者等相談支援窓口を設置

7月 豊島区犯罪被害者等支援条例を制定

8月 各種支援金等の受付開始

令和8年10月 ストーカー被害者に対する一時宿泊費用の支援を開始

- * 犯罪被害に遭われた方、およびそのご家族、ご遺族のご相談を広くお受けしています。
- * 対象となる方には支援金等の経済的支援、配食サービス等の日常生活支援を行っています。
- * 必要に応じ、関係機関への連携、庁舎内のワンストップ手続き支援、同行支援などを行います。

このイベントに関するお問い合わせ

豊島区福祉部福祉総務課計画・施策推進グループ

03-4566-2422

豊島区犯罪被害者等相談支援窓口

03-4566-2456

いずれも平日8:30~17:00



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギュっとちゃん」